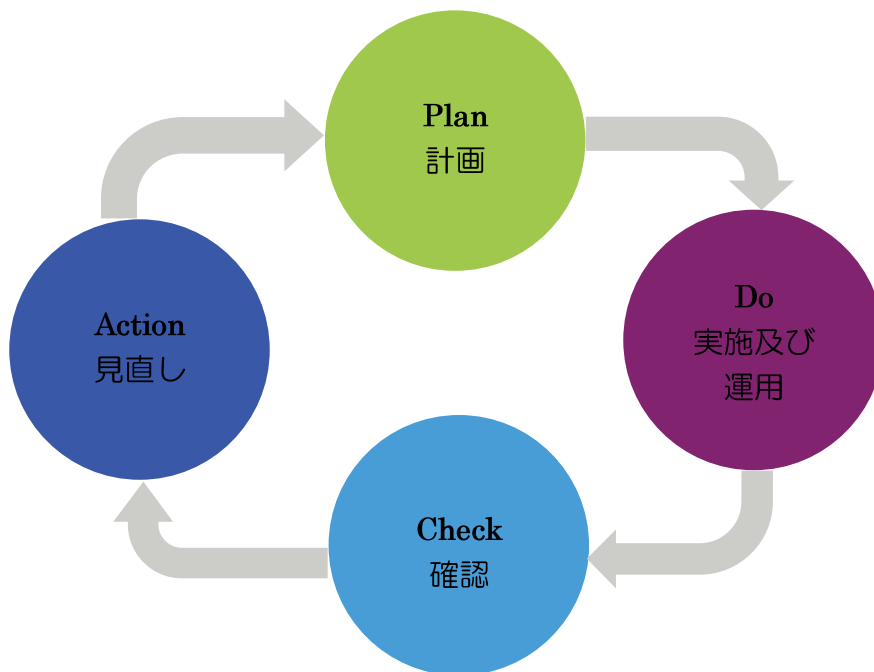


第10章 計画の達成状況の評価

社会、経済、環境の変化等により、当初期待された事業による影響・効果が発現しない可能性も考えられます。

施策実施段階で改めて影響、効果を確認（Check）したうえで、必要に応じて施策内容を見直す（Action）というように、より良い効果発現に向けて、PDCA サイクルによる不断の努力により、継続的な施策の見直し、実施が必要となると考えています。



○計画の達成状況の評価 管理表

基本的な方針	達成状況の確認方法	2019	2020	2021	2022
都心アクセスに資する公共交通を維持・拡充します	成果指標 (*第9章. 目標を達成するために 行う事業の実施 目標	○	○	○	●
駅・港・空港など広域交通拠点と都市交通の連携を図ります					
基幹公共交通軸を段階的に整備しまちなかの回遊性を強化します					
多様なライフステージの移動ニーズに応じた区バス・住民バスを確保します					
公共交通の利便性を向上させ自家用車からの転換を促進します					

●：最終評価 ○：進捗状況の確認

(*) 「第9章. 目標を達成するために行う事業」は、社会、経済、環境の変化等により、変更する場合があります。達成状況の確認は、にいがた都市交通戦略プラン〔前期実施計画〕の進捗管理と合わせて実施します。